

# 梅ヶ島 山の声

～ 梅ヶ島出張所通信 ～

## 島田市役所職員がウラの沢流路工工事(OSJ工法)を視察

2月26日(木)、島田市役所職員9名の方が管内の工事現場を訪れ、梅ヶ島新田地区で施工中のOSJ工法を見学した後、リフレッシュした大河内砂防堰堤のラバースチールを視察されました。

当日は、あいにくの雨模様でしたが、参加された方々からは、「なかなか経験できない貴重な工事現場を見学できて良かった」と好評を頂きました。



新田地区の「OSJ工法」を見学



大河内砂防堰堤の「ラバースチール工法」

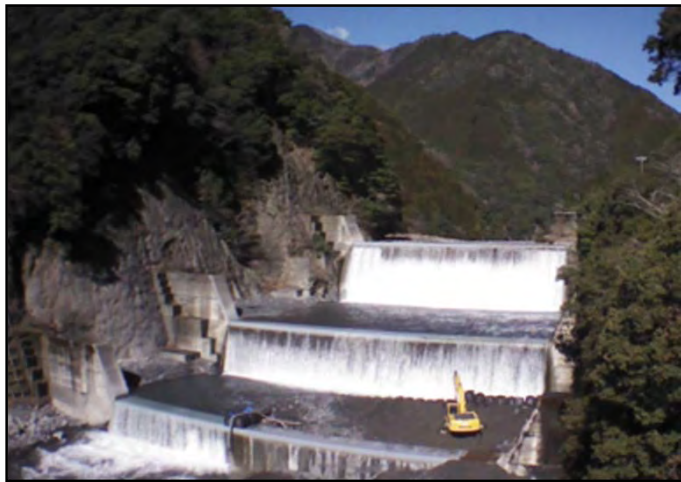
## 年度末で工事完成間近

年度末を迎え、各工事は完成間近となっています。

3月から溪流魚が解禁となり、安倍川では多くの釣り客おられますので、河川を濁さないよう注意します。

### 大河内・金山砂防堰堤改良工事が完了

リフレッシュした大河内砂防堰堤



### ウラの沢流路工工事が完成間近

市道新田1号線をくぐって横断する函渠



### 大ザレ地区の改良工事が完成間近

今年の工事で大ザレ地区の溪流保全工事が完了



### 有東木地区の杉の木沢砂防堰堤工事で

本体コンクリート打設が始まる



## 平成26年度の梅ヶ島出張所通信 10大ニュース

本出張所通信も発刊後2年を終えようとしています。本年度の出張所通信 10大ニュースを関係者から募りましたので発表いたします。皆様が選ぶ 10大ニュースは入っていますでしょうか？

### 1位 有東木で工事着工式を開催～8月9日(土)～

有東木地区で、『有東木夢プロジェクト(砂防堰堤群)』着工式典を開催しました。有東木夢プロは、国、市、地元自治体が三位一体となって地域活性化を目指した取り組みを展開しており、本式典も三者協働による手作りの心温まる式典でした。有東木の神楽「恵比寿・大黒の舞」が披露され、翁による口上が有東木の谷間に響き渡りました。土砂災害防止に対する住民の期待が伝わり、会場中が大きな拍手に包まれていました。

誰もが認める本年度最大のイベントでした。



### 4位 長野県南木曾町の梨子沢土石流災害 台風8号～7月9日(水)～

台風8号により梨子沢で土石流が発生し、中学生1名が亡くなるなど甚大な被害が発生しました。南木曾町と梅ヶ島の雨量を比較し、本地域も決して「対岸の火事」ではないと思いました。

洪水名	地点	時間雨量	3時間雨量	2日雨量
H26台風8号	南木曾	57mm	112mm	136mm
H26台風8号	梅ヶ島	35mm	67mm	198mm
H23台風15号	梅ヶ島	67mm	171mm	540mm

### 5位 「工事安全施工研究発表会」を開催～11月26日(水)～

自然条件の厳しい砂防工事現場で培った経験や安全に関する創意工夫を発表し合い、無事故で工事を完成させることを全員で確認しました。



### 6位 大谷崩で体験型の現場見学会を開催 「旬な現場」(8月21日)

一般応募の32名の方々が参加し、今年は土砂災害が多く「参加して良かった、満足した」といった感想を頂きました。



### 2位 木曾の御嶽山が噴火～9月27日(土)～

信仰の山「御嶽山」が噴火しました。紅葉シーズンの週末で、57名が犠牲となる戦後最悪の火山噴火災害でした。丁度、本通信を執筆中でしたので急遽紙面を割いて掲載した記憶があります。



### 3位 土砂災害防止に関する作文 「乗りこえた喜び」

「土砂災害防止月間特集」で静岡県交通基盤部長賞を受賞された梅ヶ島中学校の藤井秀峰君(応募当時2年生)の作文「乗りこえた喜び」を紹介しました。梅ヶ島の人々の土砂災害との闘いの日々がひしひしと伝わってくる素晴らしい作文でした。

### 7位 「H25 大谷山腹法面工事」が優良工事に(7月24日)

### 8位 「第7回 親子で大谷崩の森づくり」を開催(5月25日)

### 9位 梅ヶ島大代地区で長さ234mの流しそうめん(8月15日)

### 10位 世界遺産構成資産「三保松原」のふるさとは「大谷崩」

他にも様々な出来事がありました。ご協力をありがとうございました。

## 編集後記



卒業式の季節となりました。本号は完成を迎える工事の紹介と本年度の10大ニュースを特集しました。無事、年度末を迎えられたのも、また無事故・無災害で工事を完成できるのも、地域の皆様や工事関係者の方々のご協力とご尽力があったからこそと大変感謝申し上げます。

また、10大ニュースを編纂するにあたり、この一年、更に出張所通信を発刊した2年間が大変懐かしく思い返されました。「毎月、通信見てるよ」「最近の国交省は変わったね」と声をかけられることもあり、本通信も、梅ヶ島出張所も、地域の皆様に支えられているんだな、とつくづく思います。

この2年間、大変お世話になりました。出張所も、本通信も益々発展させます。皆様からの情報やご意見を引き続き募集しますので、以下までお願い致します。

Tel:054-269-2003、E-mail:[http://www.cbr.mlit.go.jp/shizukawa/05\\_jigyuu/02\\_office/toiwase.html](http://www.cbr.mlit.go.jp/shizukawa/05_jigyuu/02_office/toiwase.html)



圧巻の可睡齋のひなまつり

(3月15日まで)

